

■波多野勤子 児童心理学者。研究の成果を母親らの育児の助言に生かし、社会教育のリーダーとしても活動。

はたのいそこ

日露戦争終 1905 = 東京に生れる。

明治天皇没 1912 = 7歳：

第一次大戦始1914 = 9歳：

原敬首相暗殺1921 = 16歳：

関東大震災 1923 = 18歳：

金融恐慌 1927 = 22歳： 日本女子大学校英文学部を卒業後、児童心理学研究のため同大学児童研究所に勤務し、
この間に心理学者波多野完治と結婚、

満州事変 1931 = 26歳： のちに法学者となる里望を出産、
五一五事件 1932 = 27歳： さらに東京文理科大学心理学科選科に入り、

芥川直木賞始1935 = 30歳： のちに心理学者となる誼余夫を出産。
二二六事件 1936 = 31歳： 卒業、同大学教育相談部員となり、
日中戦争始 1937 = 32歳：

日米開戦 1941 = 36歳：

敗戦 1945 = 40歳：

極東裁判決 1948 = 43歳： 愛育研究所に転じる。

朝鮮戦争始 1950 = 45歳： *長男里望と中学生時代にかわした手紙をまとめ、母であり心理学者である立場からの観察をつづった「少年期」を刊行、脚光を浴びベストセラーとなった。

独立回復 1951 = 46歳： これをもとに「幼児期」を出版、生活を土台に実証的な観察に基づいた発達の法則化を目指し、

自衛隊発足 1954 = 49歳： 「幼児の心理」で第8回毎日出版文化賞を受賞。

55年体制始 1955 = 50歳： 「赤ちゃんの心理」「小学生の心理」、

インストラメン 1958 = 53歳： 「中学生の心理」と次々に刊行。

美智子妃 1959 = 54歳：

安保闘争 1960 = 55歳：

TV宇宙中継始1963 = 58歳： 国立音楽大学教授となる。

東京リボルヴ 1964 = 59歳： *{波多野ファミリースクール}を創設し、理事長として幼児の生活リズムと体療の調査や'どもる'子供の治療など新たな心理学研究を試みた。

いざなぎ景気1966 = 61歳： *心理学専攻で女性として最初の文学博士の学位をうける。

電ヶ関ビル 1968 = 63歳：

ドルショック 1971 = 66歳： 国立音楽大学を退職。

石油ショック1973 = 68歳：

このほか中央児童福祉審議会・東京都児童福祉審議会・NET番組審議会などの委員を歴任。児童心理研究の成果を母親たちの育児の助言に生かし、社会教育のリーダーとして生きた心理学研究に精進して、

JALハイジャック 1977 = 72歳：

成田衝突 1978 = 73歳： 没した。

著書に前記のほか多くの育児絵本や童話集「おさかなのうんどうかい」などがある。

「この人どんな人」、「日本の女性」、